

『あいさつをしましょう』

日常の中で「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」など、出会った人に挨拶をしていますか？

挨拶は、人間関係を作る大切な手段です。挨拶が、会話したり触れ合ったりなどのコミュニケーションのきっかけになります。知らない人から挨拶されても、嫌な気持ちにはなりません。むしろ、挨拶をされると温かい気持ちになりますね。

子どもは、大人の真似をします。大人が挨拶などの言葉を日常の状況に応じて使い分けていくことで、子どもは言葉の使い方を学んで真似しながら覚えて使うようになります。

子どもに挨拶の大切さを知らせるためには、まずは大人が挨拶を心がけましょう。自分から挨拶するのはもちろん、相手から挨拶されたら必ず応えましょう。そのとき笑顔で挨拶されると、相手もうれしくなり話しやすくなってコミュニケーションがとりやすくなります。時々、挨拶したのに相手に気づいてもらえない場合があります。目を見て、相手に聞こえる声で挨拶することも心がけましょう。

他にも、「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉も、人間関係を築くためには必要な言葉です。「ありがとう」は言えるけれど、「ごめんなさい」をなかなか言えない子もいます。この二つの言葉は、気持ちをこめて相手に伝える言葉です。無理に子どもに言葉だけを促すだけでなく、まずはまわりの大人が気持ちをこめて伝える姿をみせてあげましょう。

そして、別れる時の「さよなら」の言葉も忘れずに伝えましょう。「また今度」など、次回につながる言葉でもいいですね。



太宰府市子育て支援センター

☎919-6001